



まへしろ てつ 議員 真栄城 哲

◆西原町がタ張市のよう
になってしまおう?

問 町財政は危機的状況に直面し、歳入歳出の乖離は約11億円である。歳出削減が大きな課題と考えるが、ハード事業・ソフト事業等の削減状況の具体的な内容は。

総務部長 一次査定終了段階で、ハード事業は事業実施の延伸、経費圧縮、また新規事業提案については、財政状況が回復するまでは予算化しない方針。ソフト事業で割合の大きい扶助費は、補助の打ち切られた事業の廃止や各種給付費の基準や給付額の見直しの検討。扶助費以外では、これまで恒例として実施してきた、各種イベント等も廃止・縮小の対象とし検討している。

問 近年は、10億円を超える乖離が生じている訳です。新規事業を始め、巨額の予算を投じるハード事業の精査はなされてきたか。

町長 国保の赤字問題、一括交付金の2割負担の問題、都市化

の波による行政需要の多い地である事に伴い、地域課題であるハード事業等に答えたこともその要因かと思っている。

問 一般家庭に例えると、「古くなったテレビを買い替えるたい。家族旅行に連れていきたい。奥さんに指輪をプレゼントしたい。」自らの収入を考えずに応えた結果、家族を路頭に迷わせた。現在の財政運営は、そういう状況だと思ふ。事業執行の在り方について、しっかりと議論がなされたのか。

町長 制度期間内に最大限取り組みをさせた一括交付金事業もここにきて、2割の負担が財政のゆとりを失わしめることになったのかと考えている。これから始ま



る償還の問題もあって、益々財政状況は厳しくなる。町民の福祉、住民サービスは低下させる事はいけないという事で、扶助費を削減できなかった事も大きな原因だと思っている。

福祉保険課長

今後、県の独自の補てんがないか、議論したいと思う。

◆大型MICE関連

問 大型MICEの誘致の決定後、進展の遅い、サンライズ推進協議会、中城湾地域振興協議会での話し合いは怎么样了のか。

町長 サンライズ推進協議会ではいろいろな機会でも国に対し要請をしてきている。中城湾地域振



おおしろ よしたか 議員 大城 純孝

興協議会との協議は具体的な話し合いはされていない。まずは、サンライズ推進協議会が基本となると思うので、他の市町村と連携を強化しながらMICE施設を動かしたいと思っている。

問 「大型MICE受入環境整備検討業務」の中心について西原町は把握しているのか。
建設部長 県の観光整備課で

公表されておりマリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンに位置づけられたゾーンの詳細な条件整備、検証を踏まえて、デザインコンセプトを策定することになっている。

問 MICEエリア一帯でマスタープランとの整合性を図る意味で県と西原町はどう進めるのか。



やびく みつる 議員 屋比久 満

◆西原まつり中止を質す

問 (1)まつり事業費1,635万円のうち、沖縄振興特別推進交付金1,308万円は全額返金になるのか。(2)興行保険は戻ったのか。(3)イベント会社等に支払った違約金額は。

総務部長 (1)一括交付金

について県へ照会したところ、中止で未開催の事業に対しては活用が難しいとの見解であり、まつり事業自体は一括交付金事業廃止の形で取り扱う。(2)催事委託業務の支払いが終了した後に、保険会社と今後調整をしていく。(3)業者に支払う予定費用は、中止が決定される以前に準備等に要した費用やキャンセル料金は、721万2,707円が支払い確定額である。

◆防災マップを質す

問 町内の津波避難場所と避難ビルは。

総務部長 地域防災計画では津波の際の避難場所は、現在、坂田小学校、西原運動公園の2か所。また、津波避難ビルの指定はない。

◆国民健康保険の移管

問 県の示した保険税と西原町の国保税との考え方はどうなのか、伺う。

福祉部長

県の示している試算額は厳しい納付額と基準税額となっており、県の前期高齢者交付金の問題と試算値が赤字が出ないように高めに設定されているのではと考えている。

問 国が3,400億円を全国の国保会計に繰入れるとあるが、その中で市町村への配分の要請はどうか。



西原町側からみたMICEイメージ図 (MICE誘致時の資料から)

◆温泉水利活用を質す

問 今後、MICE関連のホテルも予定されるが、(株)合同資源と本町が温泉水の活用を考えているのか。

町長

MICE施設への温泉水を直接提供することは厳しいが、今後の動きで、沖縄総合事務局の呼びかけで、11月10日に水性天然ガスのMICE関連等への利活用に向けた研究会が発足しており、今後、試掘評価を経て、事業化の際にはMICE施設への温泉水の利活用は十分可能と考えている。

問 研修の再スタートに向けての進捗状況は。

教育部長 現地へアンケートを実施し、まとめている。要綱の改正を行い、再開に向け進めていきたい。



温泉水発掘のもよう (東崎地内)

◆海外移住者子弟研修生の再開は